



指令にあいさつする多々見市長

海上自衛隊の幹部候補生らを集め、近海練習航海中の練習艦隊に入港した。

## 練習艦隊 舞鶴入港

幹部候補生190人

多々見市長は、海上自衛隊の幹部候補生らとあいさつした。練習艦隊は、舞鶴港に入港した。練習艦隊は、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)を旗艦に、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)、護衛艦「あまぎ」(排水量4050トン)の3隻で編成。広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校を卒業した190人(女性15人、タイ王国留学生1人)を含む710人が乗込み、3月18日江田島を出航。佐世保、大湊、小樽などに寄港して舞鶴に入港した。練習艦隊は、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)を旗艦に、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)、護衛艦「あまぎ」(排水量4050トン)の3隻で編成。広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校を卒業した190人(女性15人、タイ王国留学生1人)を含む710人が乗込み、3月18日江田島を出航。佐世保、大湊、小樽などに寄港して舞鶴に入港した。

北吸岸壁では市民や隊員、関係者合わせて300人が出迎え、歓迎行事が行われた。練習艦隊は、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)を旗艦に、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)、護衛艦「あまぎ」(排水量4050トン)の3隻で編成。広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校を卒業した190人(女性15人、タイ王国留学生1人)を含む710人が乗込み、3月18日江田島を出航。佐世保、大湊、小樽などに寄港して舞鶴に入港した。

練習艦隊は、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)を旗艦に、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)、護衛艦「あまぎ」(排水量4050トン)の3隻で編成。広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校を卒業した190人(女性15人、タイ王国留学生1人)を含む710人が乗込み、3月18日江田島を出航。佐世保、大湊、小樽などに寄港して舞鶴に入港した。

練習艦隊は、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)を旗艦に、練習艦「あまぎ」(排水量4050トン)、護衛艦「あまぎ」(排水量4050トン)の3隻で編成。広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校を卒業した190人(女性15人、タイ王国留学生1人)を含む710人が乗込み、3月18日江田島を出航。佐世保、大湊、小樽などに寄港して舞鶴に入港した。

# 原点回帰のライフスタイル

## DIY STYLE 2件目の特許取得

企業の知的所有権に関する認識は近年急速に成熟してきたが、当地で積極的に取り組む企業は少ない。手続きの煩雑さや費用面での問題等、中小零細企業には敷居が高いことが一因である。そんななか、喜多のDIY STYLEが同社2件目の特許を取得した。



特許証を手にする森本さん

今回同社が取得した特許は、「簡易なフローリング施工方法」だ。従来の木材を使った本格的なフローリングは、床面に釘を打ちつけられるのが一般的だが、この方法では床面に敷いた特殊なシートの上に床材パネルを組み合わせる。これによって退去時に原状復帰の必要が生じる賃貸物件においても、本格的なフローリングを追求できることになる。同社代表の森本隆さん(44)は、「引越しができるフローリングだ」と胸を張る。

森本さんは、東舞鶴で建具店の長男として生まれ、建築の専門学校を出た後、10数年の間、建築設計士として大阪で過ごした。仕事は過酷を極め、身も心もぼろぼろになって帰郷したと当時を振り返る。幼少時より目のあたりにしてきた商売の厳しさに、「自分は絶対にサラリーマンになる」と思

## 日曜大工でこころ豊かな暮らしを

た。小学校低学年の頃、祖父が壊れたストーブを拾ってきて、全一別のストーブを作った。魔法のように感じた。そんな原体験が後押しをした。

平成18年、森本さんはDIY STYLEを創業する。DO IT YOURSELF(自分自身でやる)の時代は、多様化した価値観の中で、どんなふうにも多岐にわたる日々を過ごす。それ

「子どもから尊敬されるような暮らしをしていきたい」大人の人間力の提案。同社の挑戦はまだまだ続く。

い続けた末の選択ではあったが、勝負はあった。顧客からの要望に添える建材が致命的に不足していることが常々感じていたのだ。設計士のほとんどが、顧客を見ずに施工業者を見ていると感じていた。同時に、年間何百件と建築確認申請を取り扱うなかで、また十分に住める家を取り壊すことに疑問を感じていた。

「つづいては建てる時代はいずれ終わり、直して長く使う時代がやってくる」森本さんの祖父は、手先が器用で壊れたものを直すのが得意だった。

「YOURSSELF」日曜大工を応援するWEBショップである。当時、周りからは「まういづがやらない」「口々にそう言われた。仕入先に交渉しても門前払いが続いた。建材はプロが使われる。固定観念が行く手を阻んだ。

しかし、時代は確実に変わっていった。インターネットが世界をつなぎ、必要なものは何でもどこでも手に入る時代。材料を集め、使い方を学べば、自分で出来るものが飛躍的に広がっていった。時代の変化に足並みをそろえ、同社の業容は拡大した。現在は、オリジナル製品を数多くそろえ、全国の消費者に「こだわりの商品」を販売する。「大量生産、大量消費の時代は終わる」と森本さんは話す。「これからは、多様化した価値観の中で、どんなふうにも多岐にわたる日々を過ごす。それ

## 西地区 人工透析施設建設

来年12月に開設予定



施設(仮称)「が12月に着工する。平成30年12月に開設予定。施設は、東地区にある共済病院と青葉診療所の2施設で51床、西地区に



同社開発のフローリング床材



発行所  
(株)舞鶴市民新聞社  
〒624-0805  
舞鶴市福来912-1  
電話 0773-78-2055  
ファックス 0773-77-1750  
郵便振替口座 01000-4-4254

**iDeCo**  
京都府民年金  
iDeCo(個人型確定拠出年金)は  
3段階の運用選択が可能な  
専用口座です。

- ① 全額所得控除 ② 半額所得控除
- ③ 運用選択 ④ 運用選択
- ⑤ 公的年金等控除 ⑥ 退職所得控除

詳しくは、ホームページをご覧ください。  
京都府民年金  
京都府民年金  
URL: <http://www.kyoto-nenkin.jp/>

くらしのCM  
掲載希望者募集  
パート社員募集  
の記事広告の掲載希望者を募っています。一行につき540円(消費税込み)です。関西78・2055、本社まで。

本社ホームページアドレス  
<http://www.maipress.co.jp>  
本社Eメールアドレス  
[maipress@topaz.ocn.ne.jp](mailto:maipress@topaz.ocn.ne.jp)  
ご意見・ご質問は上記アドレスで、電話、ファックスでも受け付けます。  
舞鶴市民新聞社 ☎ 0773-78-2055  
0773-77-1750